

サーバーセットアップいらずの最新ツール登場

TypePadで すぐに始めるblog講座

Text : 平田大治

URL <http://www.typepad.com/>

基礎

3種類のホスティング付きサービス

Movable Typeを凌ぐ手軽さと機能

強力なコンテンツ管理や運用が可能なblogツールの代表格の1つにMovable Typeがある。これを使えば、たしかにウェブサイトの管理や運用は効率化されるが、ツール自体の機能拡張やサーバーのメンテナンスなどに関する管理者の手間はかかる。米国では、この手間もかからずにMovable Typeの機能が利用でき、さらに最新の機能に対応した新しいblogサービスが登場した。

Movable Typeの問題点を解決

TypePadは、Movable Type(以下、MT)を開発したBen Trott、Mena Trott夫妻が経営する米国のSix Apartが開発した新しいblogホスティングサービスだ。二人は2001年にMTを開発して以来、ユーザーの意見をどんどん取り入れてパワフルなツールに仕上げてきたが、その意見の中にはどうしてもMTでは解決できない問題があった。それは「インストールが難しい」「テンプレートの設定が難しい」といったことで、これに対する回答がこのTypePadなのだ。TypePadは単なるMTのホスティングサービスではない。これからblogを始める初心者にも簡単で、しかも、これまではほかのblogツールを使いこなしてきた人にも満足できる高い機能や豊富なサービスを実現した次世代のblogサービスなのだ。

TypePadは「ホスティングサービス」なので、当然MTのようなアプリケーションのインストールは必要ない。ブラウザーからユーザー登録するだけで、すぐに使い始められる。慣れたユーザーなら、登録を始めてから最初のポストまで、順調に進めば10分もかからないだろう。MTをホスティングするサーバーが見つからないユーザーや、インストールで挫折したユーザーにはぜひ試してほしい。もちろん、初心者だけでなく、すでにblogに慣れたユーザーにとってもサーバー管理の手間がかからず、Rebuild(TypePadでは、Publish)と言う非常に高速だというメリットがある。フォトアルバムやウェブサービス、FOAF(Friend of a Friend)などの新しいテクノ

ロジーと連携した「TypeList」なども備えており、よりblogを楽しむための機能がしっかりと用意されている。

また、TypePadには強力なテンプレートビルダー機能が追加された。TypePadで標準的な使い方をするには、HTMLやテンプレートを特別に意識する必要はない。あらかじめ登録されているテンプレートをメニューで選択できるほか、ウェブの管理画面でメニューを選んでいけば、スタイルや色、内容、フォントを簡単に変更できる強力なテンプレートの設定機能がある。たくさんあるMT独自タグと格闘しなくても、たやすく変更できるわけだ。

日本語のblogも簡単作成

現在TypePadは有料サービスのみだが、ユーザー登録後の30日間は無料の試用期間となっていて、いっさいの制限なく実際に利用できる。サービスは、使える機能と料金によってBasic、Plus、Proの3種類のレベルに分かれる。3種類の違いや機能については次ページを参照してほしい。

また、サービスがまだ「Preview Release」の状態にある。本格サービスまでには、blogのドメイン名を任意のドメイン名にすることができる「ドメインマッピング」など、新しい機能が追加される予定になっている。また、米国発のツールということもあってTypePadのウェブサイトは英語で、管理画面などもすべて英語だがそれほど難しくはない。多言語をサポートしているので標準のままで日本語のblogを作成できる。

3つの種類と全機能一覧

機能		Basic	Plus	Pro
ウェブログ	1アカウントで複数のウェブログを利用	×	3つまで	無制限
	カテゴリー			
	ポストのタイトル			
	ポストのオプションフィールド(キーワード、概要、追記)	×		
	ポストへのコメント			
	イメージ、ファイルのアップロード			
	投稿状態(公開 / 非公開)			
	QuickPos(Bookmarklet)			
	トラックバック			
	メールでの投稿、モブログ(メールで画像などをポストできる機能)	×		
	投稿日の設定(過去、未来)	×		
	投稿者の追加登録	×	×	
	投稿者権限の設定	×	×	
	利用禁止IPアドレスの設定			
	ポスト毎の設定(コメント、トラックバックの有無、テキストフォーマット)	×		
	ポストの検索			
	ポストの検索と置換	×	×	
	ポストの編集ボタン			
アーカイブの管理	個別ポスト毎のアーカイブ			
	カテゴリー毎のアーカイブ			
	カレンダーベースのアーカイブ(日毎、週毎、もしくは月毎)			無制限
テンプレートの管理	デザインされたテンプレートライブラリー			
	グラフィカルなテンプレートビルダー			
	テンプレートスタイルの編集	×		
	テンプレートの内容の編集			
TypeList	Movable Type 準拠の拡張テンプレート編集	×	×	
	People(Blogroll、FOAFを利用した情報取得)			
	Listening(音楽)			
	Reading(本、ISBNを利用した情報取得)			
フォトアルバム	リンク			
	個別の写真ページを含むフォトアルバムの公開	×		
	イメージの自動サイズ変更	×		
	自動サムネイル生成	×		
	アルバムのデザインとレイアウトの編集	×		
	アルバムスタイルの変更	×		
サイトの管理	メールでの投稿、モブログ	×		
	About Page			
	著者の写真			
	ウィッシュリスト			
	ウェブログのパスワードでの保護	×		
	ドメインマッピング(まもなく対応)	×		
システム	ポストのインポート、エクスポート			
	多言語サポート			
	高速なページのリビルド			
	スタティックページの生成			
	ページヒット数の統計			
	サイトの参照情報			
技術的な機能	更新通知			
	SSLによるセキュアログイン			
	FOAFの生成			
	XML(RSS) シンジケーション			
	XML-RPC API サポート			
	XHTML 準拠ページ			
	サーチエンジンに優しいマークアップ			
	ユニコード文字のサポート			
	CSSを利用したレイアウト			
	PGP署名をサポートしたメールでの投稿	×		
容量と帯域	ディスク容量	50MB	100MB	200MB
	帯域幅	月間 1GB	月間 2GB	月間 3GB
	ディスク容量と帯域の追加			
価格	30日間の無料試用			
	月額	4.95ドル	8.95ドル	14.95ドル
	年間前払いでの割引	2か月分 無料	2か月分 無料	2か月分 無料

複数blogの利用:(Plus、Pro)

TypePadでは1つのアカウントで複数のblogを利用できる。Plusは3つまで、Proは無制限だ。

投稿日の設定:(Plus、Pro)

投稿日に未来の日付を指定しておく、その日になると自動的にポストされる。

メールでのPost:(Plus、Pro)

メールによる投稿、いわゆる「モブログ」機能が搭載されている。これなら携帯電話からの投稿も可能になる。

テンプレートビルダー:(全種類)

テンプレートをHTMLの知識なしに、GUIで変更できる。

拡張テンプレート機能:(Pro)

Movable Typeと同様に、MTタグを使ってテンプレートを自在に変更できる。

TypeList:(全種類)

リンクやblogのリスト(BlogRoll)、本やCDのリストの管理や表示ができる機能。

フォトアルバム:(Plus、Pro)

画像のサムネイル表示やデザイン、レイアウトの変更が可能なフォトアルバムを作成できる。



サイトのアクセスログ:(全種類)

アクセスログの統計情報が見られる。また、どここのウェブサイトを通じて自分のblogにアクセスしてきたかも把握できる。

3種類のどれを使えばいいの？

Basicは、とにかくblogを体験してみたい、使ってみてみたいという人向けの低価格版だ。基本的な機能はそろっている、すぐに始められる。Plusにすると、フォトアルバムやモブログ機能も追加される。TypePadの機能を試してみたい人はPlus以上にしたいほうがいいだろう。ProはすでにMovable Typeを使いこなしているユーザー向けだ。いくつでもblogを設定できるので、複数のblogを上手に使ってもらえる人に重宝する。テンプレートHTMLを自分で設定したいパワーユーザーにおすすめだ。

ユーザー登録からポストまで一気にできる たった15分でウェブサービス対応のblogが完成

TypePadはホスティングサービスなので、Movable Typeのようなインストール作業は一切不要。ユーザー登録するだけで、速攻で簡単にblogを作れるのだ。有料だが、最初の30日間は試用期間なので課金されない。この期間を利用してまずは触れてみよう

LESSON 01

所要時間3分

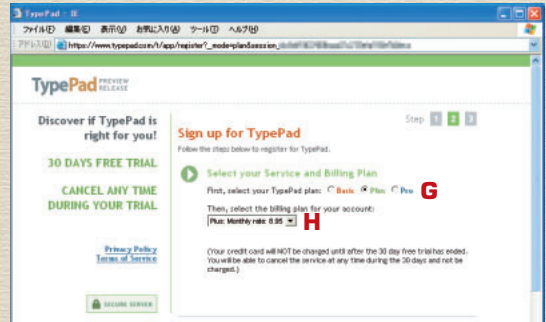
ユーザー登録してセットアップする



1

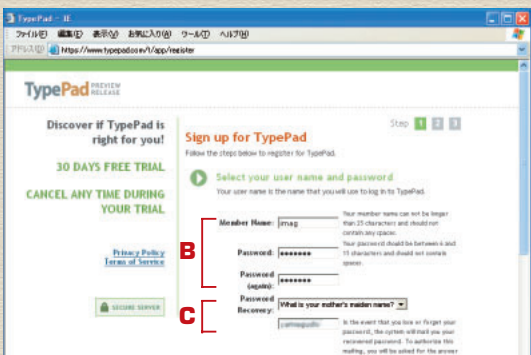
まずは新規登録のため、TypePadのトップページの「Sign up for TypePad」(A)をクリックしよう。

URL <http://www.typepad.com/>



3

次にサービスをBasic、Plus、Proから選ぶ(G)。また料金は毎月払いと1年分の一括払いから選択できる(H)。その下にはクレジットカードの情報を入力しよう(I)。Security Codeにはクレジットカードの裏、サインをするところなどに書いてあるカード番号の下3桁の番号を入力しよう(J)。Billing Address(K)には、カード会社に登録した住所(Address)、市区町村(City)、都道府県(State/Province/Region)、郵便番号(Zip/Postal Code)、国(Country)、電話番号(Phone Number)を入力しよう。電話番号は「+81-3-xxxx-yyyy」といったように日本の国番号81に続いて、0を省いた市外局番号を入力する。全部入力したら「REVIEW YOUR REGISTRATION >>>」(L)をクリック。

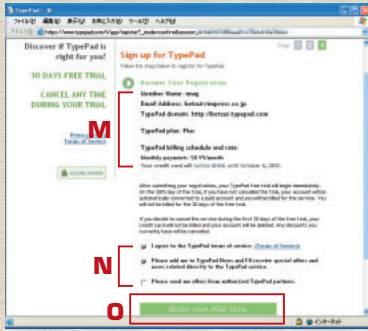


最初にログインのときに使うメンバー名とパスワードを設定しよう(B)。パスワードを忘れたときに聞かれる質問と答えも設定しておく(C)。次に名前とメールアドレスを設定する(D)。TypePadでは自分のblogのアドレスはhttp://(好きな言葉).typepad.com/、http://(好きな言葉).blogs.comから選ぶことができ(E)。使えるのはアルファベットと数字とハイフンだ。全部入力したら、「CONTINUE TO NEXT STEPS >>>」(F)をクリックして次に進もう。

2

現在のところ、登録したドメイン名は後から変更できない。十分考えてから入力しよう。Plus、Proユーザー向けには、自分の好きなドメイン名を利用できるようにする計画もある。

HINT

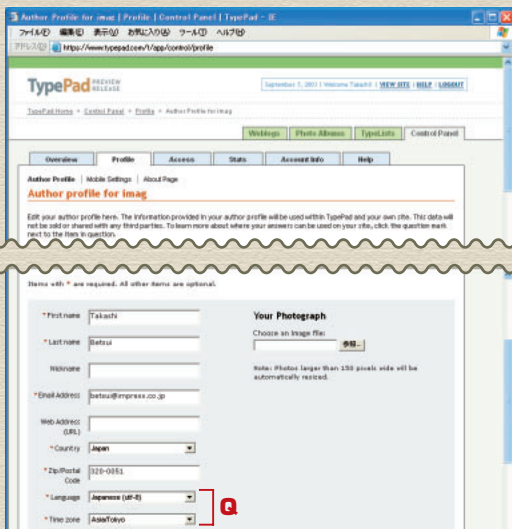


入力した情報 **M** をチェックしたら、会員規約 (Terms of Service) を確認し「I agree to the TypePad terms of service.」のチェックを入れて **N** で「BEGIN YOUR FREE TRIAL」をクリックする **O**。クリックするとクレジットカードの確認が行われて、TypePadの画面が表示される。これでユーザー登録は完了だ。

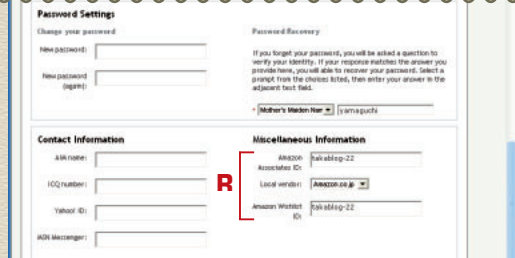
稀に日本のクレジットカードではうまく登録できないことがある。住所や郵便番号、電話番号を確認しても登録を受け付けないときは、別のクレジットカードを利用してみよう。

HINT

4



6

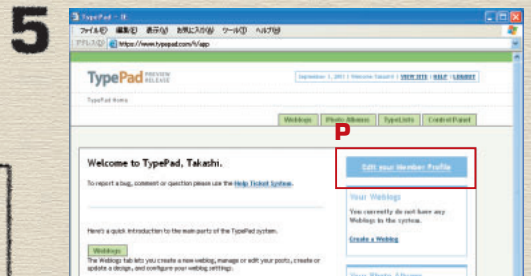


ここではいろいろな個人情報を登録するが、基本的にPublishするための情報でもあるので、他人に教えてもいい情報だけを登録しよう。まず「言語」(Language)と「時間帯」(TimeZone)をそれぞれ「Japanese」「Asia/Tokyo」などに合わせせ **Q**。「utf-8」や「euc-
jp」などを選択できるが、TypePadではユーザーのblogはすべて「utf-8」に変換されるので、どれを選んでも問題ない。また、すでにアマゾンのアソシエイトプログラムに登録している人 (P126参照) は、アソシエイトIDを入力して「Local vendor」に「Amazon.co.jp」を設定しておこ **R**。終わった **S** をクリック。

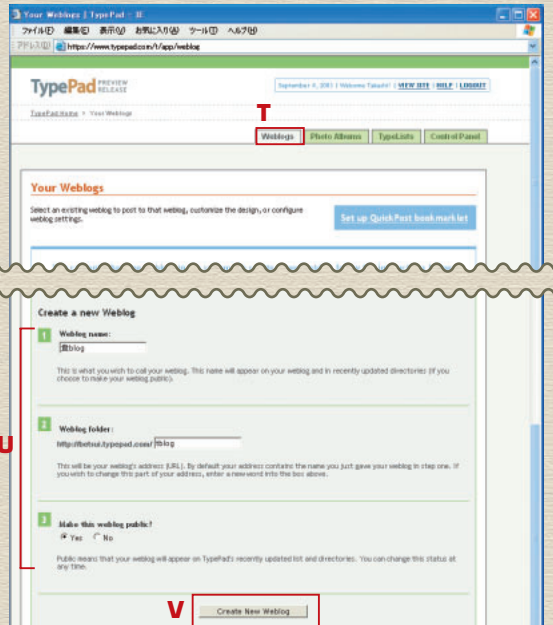
登録情報はblogで使うほか、TypeListで他人がリストに登録するときにも利用される。他人が見たときにわかりやすくなるように心掛けよう。

HINT

完成



これが4で表示されたTypePadにログインした直後の画面だ。まずは「Edit your Member Profile」(**P**) をクリックして、プロフィールを設定しよう。



7

いよいよ1つblogを作る。画面上から「Weblog」のタブ **T** をクリックしよう。するとblogを作成するようにメッセージが出てくる。ここで入力するのは「blogの名前」「フォルダの名前」「公開か非公開の選択」の3つ **U**。入力した **V** をクリックする。

画面が切り替わりblogが作成された。

LESSON 02

画像付きのblogを投稿する

所要時間7分

1

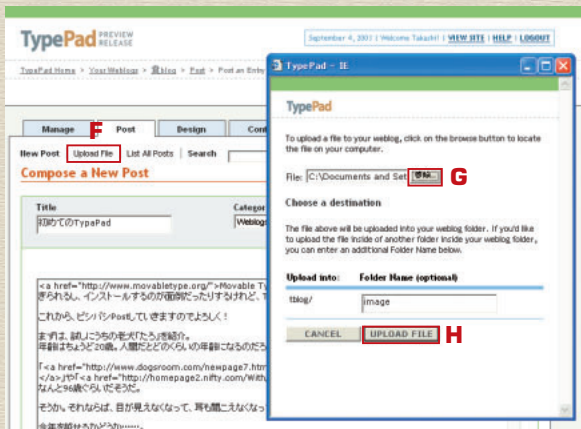
設定が完了したばかりのblogだが、当然まだなにも登録されていないので、早速エントリー(記事)をポスト(投稿)してみよう。投稿するには「Weblog」タブの下の「Post」タブ(A)をクリックする。新しいエントリーの投稿画面が表示されるので、投稿のときは、まず「タイトル」(B)「カテゴリ」(C)「本文」(D)を入力、設定する。カテゴリは標準で設定されているほか、自分でも作れる。

エントリー本文の入力エリアの右上にアイコンが表示されている。このアイコンをクリックすると、エントリーの文章にリンクを設定したり、文字の種類を変更するときに使うHTMLタグを挿入したりできる。たとえば太文字にしたいときは、太くしたい本文の部分をマウスで選択してEをクリックする。するとタグで囲まれて、blog上では太文字で表示される。ボタンの意味は左から「太文字」「イタリック」「アンダーライン」「リンク挿入」「メールアドレスのリンク挿入」「引用(quote)」だ。



HINT

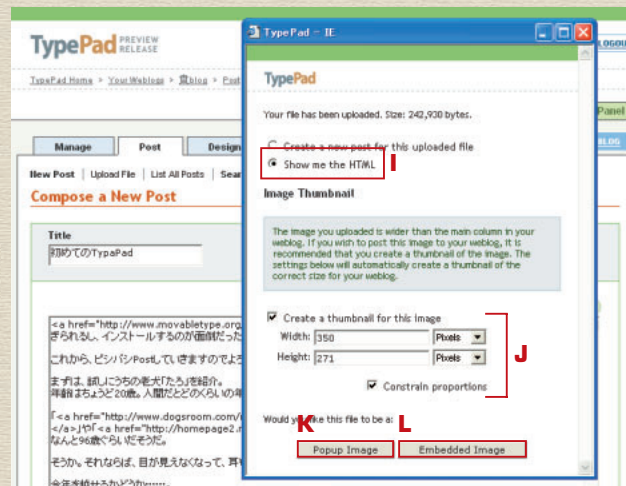
2



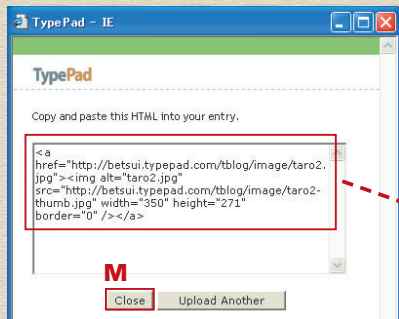
本文が入力できたら、画像をアップロードしてみよう。「Upload File」(F)をクリックするとウィンドウがポップアップ表示される。「参照」ボタン(G)をクリックしてファイルを選んだら「UPLOAD」ボタン(H)をクリックする。

3

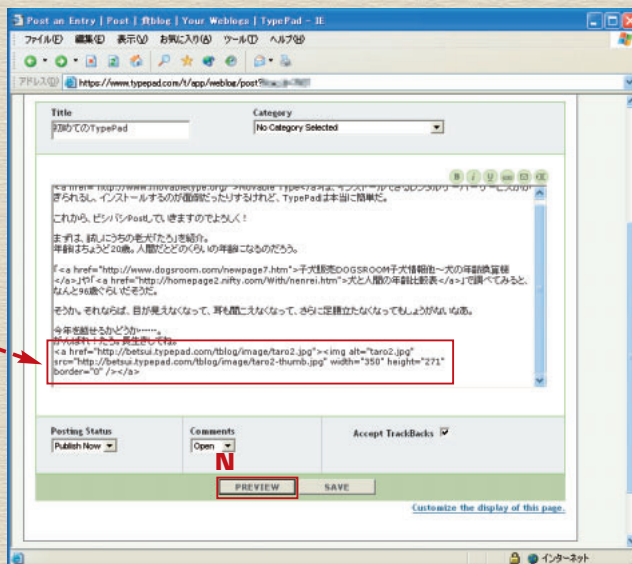
アップロードが完了すると、画面が切り替わる。「Show me the HTML」(I)を選択して、アップロードした画像を表示するためのHTMLタグを表示させる。サムネイル(縮小)画像を作りたければ「Create a thumbnail for this Image」のチェックも入れて、サイズを設定する(J)。画像をクリックしたときに別ウィンドウに表示させたいときは「Popup Image」(K)と同じブラウザ一画面に表示したいときには「Embedded Image」(L)をクリックする。



4

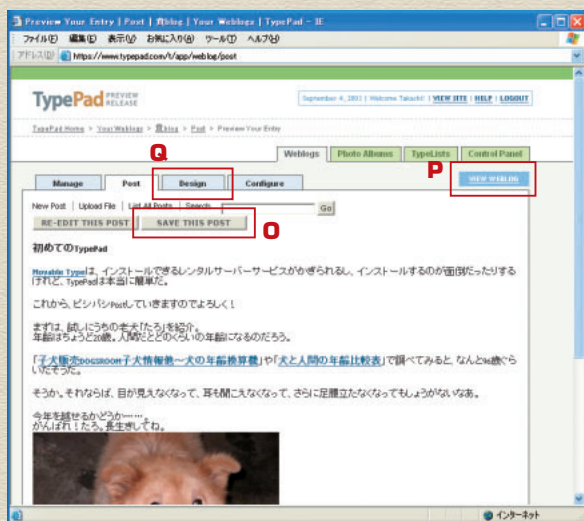


すると画像を表示させるためのHTMLタグが表示される。blogの本文の画像を表示させたいところに、このタグをコピー&ペーストし終わったら「M」をクリックしてこのウィンドウを閉じる。本文の入力が完了したら「Preview」(「N」)を押して確認する。



5

確認して問題がなければ「SAVE THIS POST」(「O」)をクリックして保存する。保存するとすぐにblogが更新されるので、早速「VIEW WEBLOG」(「P」)をクリックして見てみよう。



完成

すると、自分のblogの画面が新しいウィンドウに表示されるはずだ。このように、登録から設定、blogの作成、投稿まで非常にすばやく簡単にできるのがTypePadの特徴だ。

設定したblogのデザインを変更したいときには、「Post」の右にある「Design」(「Q」)タブをクリックしよう。レイアウト(Layout)、下画像、表示内容(Content)、表示順(Order)、色・文字の種類(Style)を簡単に設定できる。

HINT



LESSON 03 所要時間5分 TypeListでアマゾンの本をリスト化する

1



Movable TypeにはないTypePad独自機能の1つがTypeListで、リンクや好きな本などをリスト形式で登録、管理するためのツールだ。現在TypeListには、Friend、Link、Reading(本)、Music(CD)が登録できる。FOAFやウェブサービスと連携しているが、使うときには、そんなことを気にする必要はもろくない。試しに自分の好きな本を登録してみよう。

TypeListはアマゾンウェブサービスと連携しており、P123のプロフィールにアソシエイトIDを登録しておけば、自動的にアソシエイトコード入りのリンクも設定してくれる。もし、アソシエイトIDを持っていないのなら、アマゾンのサイトで簡単に登録できる。もちろん登録しなくても、この機能は利用可能だ。

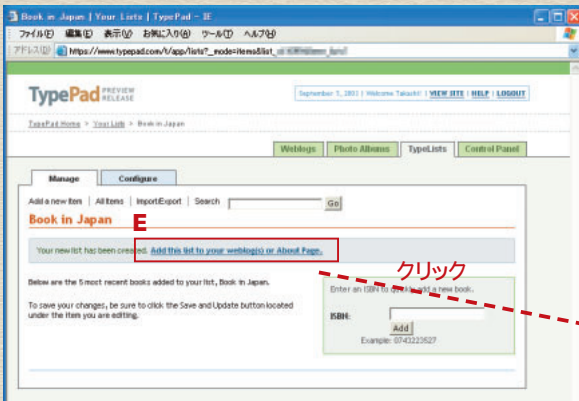
URL <http://www.amazon.co.jp/associates/>

2

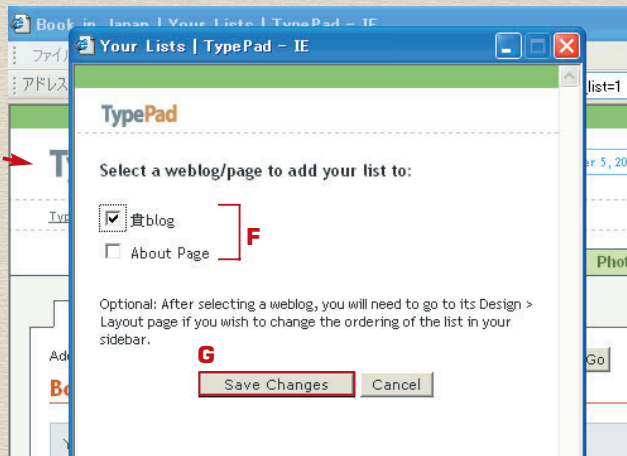


まずTypeListのタブ(A)をクリックして、リストを作成しよう。ここでは、本のリストを作成して登録してみる。「List Type」では「Reading」(B)、「List name」には自分の好きな名前を登録(C)しよう。設定できたら「Create new list」(D)をクリックする。

3

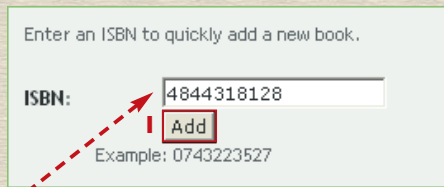


リストを作成すると画面が切り替わり、リストへの追加画面が表示される。リストに登録する前に、このリストを自分のblogに表示するために「Add this list to your weblog(s) or About Page.」(E)というリンクをクリックしよう。するとウィンドウがポップアップ表示される。ウィンドウには、すでに作成したblogのリストとAbout Pageが表示されている(F)。この新しく作るリストを表示させたいほうをチェックしよう。チェックしたら「Save Changes」(G)をクリックして保存する。

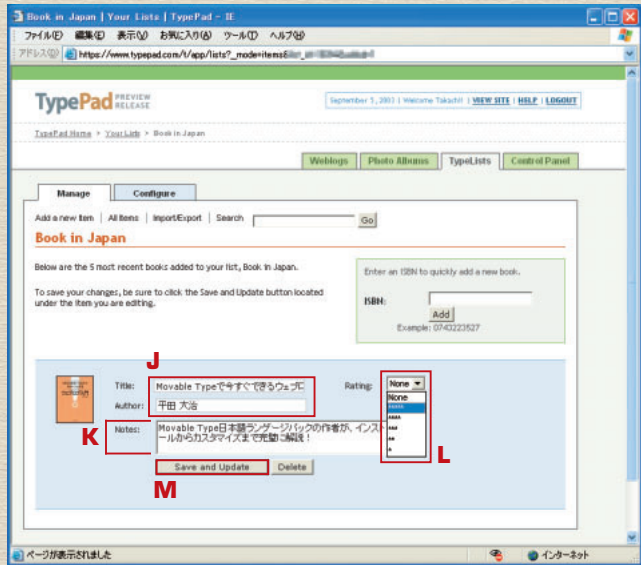




リストに本を登録するには、ISBNコードを入力するだけでいい。ISBNコードは本の裏などにあるバーコードの下に「ISBN4-8443-1812-8」などと書かれているほか、アマゾンで検索して書籍データから参照することもできる(H)。入力して「Add」ボタン(I)をクリックするとリストに登録され、本の表紙や書名(Title)、著者名(Author)が自動表示される(J)。Notes(K)には自分でメモやコメントを、Rating(L)には、本がよかったかどうかを5段階で評価できる。変更したら「Save and Update」(M)をクリックしよう。

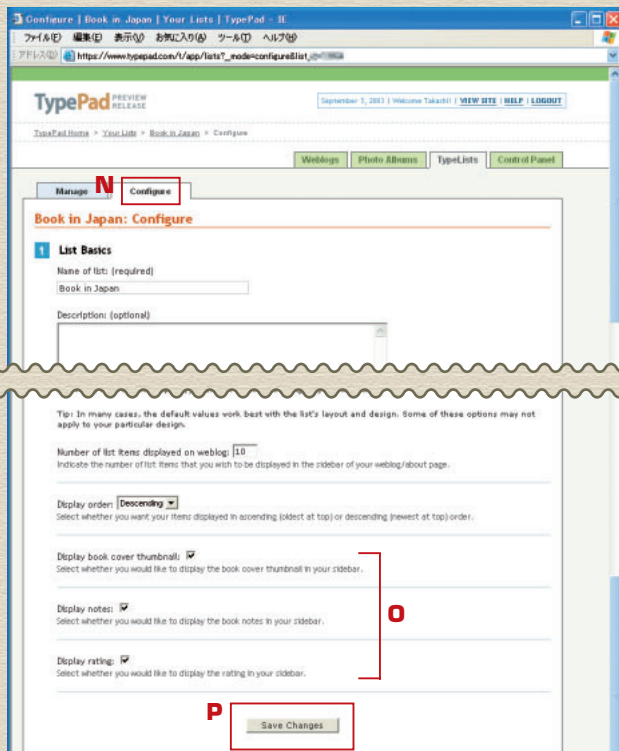


4



5

この段階でも自分のblogにリストが反映されているが、リストに表示させる内容を設定するために「Configure」タブ(N)をクリックする。本の表紙を表示させる「Display book cover thumbnail」、コメントなどを表示させる「Display notes」、5段階評価を表示させる「Display rating」にチェック(O)して、「Save Changes」(P)をクリックして保存する。



完成



保存したら、早速自分のblogを見てみよう。画面右側のサイドバーの一番下に、作ったばかりのTypeListが表示されている。このように、簡単に自分の好きな本を登録して、他の人に紹介することができるのだ。



[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp